MADOKAEN NEWS LETTER

ソレイユ

2020年 秋号

社会福祉法人　慶和会
障害者支援施設　まどか園
福岡県大野城市大字瓦田127-48
施設長：寺﨑敏也
編集・発行：広報委員会
TEL:092-504-6537

↑通所部（生活介護、放課後等デイサービス、児童発達支援）と入所部を分断しました。P.3の「感染対策」もご覧ください。

コロナ禍における様々なリスク回避を考えての決断です

まどか園の通所部は、新型コロナ感染予防対策として5月より場所を移転して事業を行っています。移転先はまどか園のすぐ近くです。社会福祉法人 悠生会様のご厚意で、以前は悠生園デイサービスセンターだった建物を一時的にお借りして通所事業を継続させて頂いています。広々とした室内を生活介護通所、放課後等デイサービスの２箇所に区切って、できるだけ密にならないよう心掛けながら運営しています。空間的には一つなので、休み中などは朝から大人も子供もワイワイ！ガヤガヤ！と騒々しい場面もありますが、成人の利用者様たちの温かで広い心に助けられたりもしています。時にはオモチャや楽器で遊んでくれたり、子供たちも成人の利用者様に話しかけたり。その隣で寛いだり…思わぬ交流が見られたりもしています。新型コロナ感染について収束の気配を感じられない毎日です。利用者様もご家族も職員も誰もが漠然とした不安やストレスを感じている中にあって、児童と大人の間で垣間見る数々の場面は、みんなの心を癒してくれ、どこかホッとする瞬間や元気を貰ったりの日々です。まだまだ先の見えない現状ではありますが、暗い顔になることなく笑顔で収束までの道のりを乗り切って行こうと思います。

4月 イベント

目の前で焼くと美味しさも倍増

お楽しみ給食会

もともとは春の陽気を野外で楽しむ給食会だったのですが、天候不良が続いたり日差しが苦手な方もいらっしゃったので、室内で野外気分を楽しむ給食会へと変化していったこの行事。今年は野外といったらバーベキューでしょってことで、事務所前のカウンターにホットプレートを置き、焼き立てお肉を提供させていただきました。早っU田さん、もうおかわり？次はしっかり噛んでくださいね。

6月 イベント

コロナ太りにも気を付けようね

喫茶会「まどカフェ」

コロナ禍で中止となってしまった行事も多かった中、フィジカル・ディスタンスを保てると判断し開催された喫茶会。ビニールシートのかかった厨房から出されたスイーツとドリンクをしっかり距離をとっていただきました。またコロナ太りにもならないように腹八分で終了。しかしこんな窮屈な生活をいったいいつまで…。いかんいかん下がってしまっては、血糖値と共に気分も上げていこう！

7月 イベント

今年の願い事はマジに叶えて

七夕会

今年は、この広報誌の最後のページでも紹介している新人・音楽療法士のお二人が七夕音楽レクレーションを開いてくれました。星つながりで「星影のワルツ」を演奏してくれたのですが、昭和生まればかりの皆さんの心には深く届いたご様子。ところでバックに飾られた笹竹の願い事を覗いてみると…やっぱり「コロナよ立ち去れ」的な文字が多く見られました。ああお星さま！ほんとーに叶えて(T_T)

8月 イベント

利用者さんのためだけじゃない

居酒屋まどか

居酒屋になんてめったに行けない利用者さんのために考えられたこのイベント。しかし今年は、職員ですらなかなか行けない状況になってしまいました。その鬱憤を晴らすかのように、利用者さんは飲めや、職員は歌えやの大騒ぎとなりました。音楽療法士のピアノの伴奏のもと、のど自慢職員H本さんが「涙そうそう」を熱唱。顔が赤くなった利用者さんはアンコール！の大合唱。平和でした～。

感染対策

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、我が園も様々な対策を行ってまいりました。ご協力いただいた皆様には感謝の言葉しかありません。

まさかこんな事態になるとは…この未曽有の危機に職員は何度心が折れそうになったことか。しかし、その度に助けてくれる方々が現れ、私たちを守ってくれました。様々なリスクを考え通所部と入所部を分断するにあたっては、社会福祉法人 悠生会様が旧悠生園デイサービスセンターだった建物をご提供くださいました。マスクをはじめとする様々な物資不足には、利用者様のご家族がご自分の分をさておき大量に送ってくださいました。こんなパワーをいただいたおかげで、我々も一丸となり感染対策を続けていく事が出来ています。皆様、本当にありがとうございました。

←①万が一感染者が出たときのためにビニールシートに覆われた隔離部屋を準備し、職員は防護服を着脱する練習にも取り組みました。/②旧悠生園デイサービスセンターの建物は、まどか園から徒歩でも10分ほどの場所。こんなに素晴らしい物件に巡り合えたのは奇跡に近いでしょう。/③古賀さんのお母さまに手作りの布製マスクをいただきました。/④坂井さんのお母さまに手作りの布製マスクをいただきました。事務職員はカードケースを利用してフェイスシールドを作ってくれました。/⑤大口さんと高松さんのご家族が消毒液や紙マスクなどたくさん送ってくださいました。

徒然日記

日常のスナップショット。何気ない普段の生活もまどか園の大切な一日です。あんなことやこんなこともありました。

我が園でも様々な外出が中止され…せめて外の空気をと園庭で日向ぼっこを楽しみました。

まどか桜は今年もきれいな花を満開に咲かせてくれました。

感染拡大予防のため食事は皆さん一定方向だけを向いて食べてもらっています。もう日常です。

歩行訓練の途中。作業療法士とともに最大の目標地・那珂川方面をじっと見つめるU田さん。

喫茶会「まどカフェ」で出された色とりどりのスイーツたち。太らないよう１人２個までね。

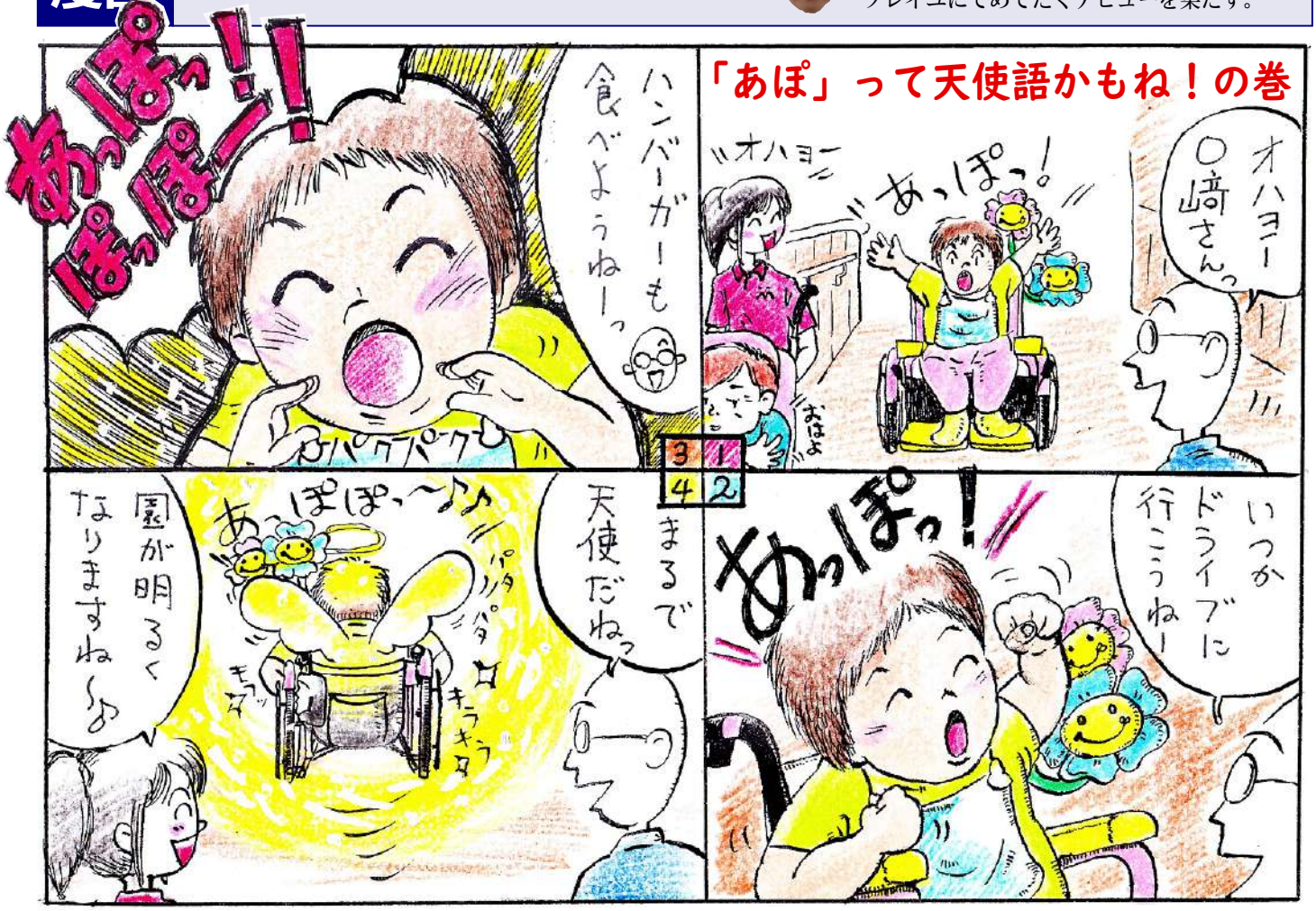
悠生園へ行って広くなったスペースを満喫する子どもたち。まどか園のことも忘れちゃいやよ。

「さようなら～」の声がよく届くT原さん。皆の願い事を高らかに読んで天まで届かせて～。

訪問理容「ポエジー」も中止となって立ち上がった喜多副部長の「キタジー」が大盛況に。

四枠漫画 毎日まどか園 vol.2

作：鞘野 明
まどか園の生活支援員。漫画好きが高じて自らもペンをとるアマチュア漫画家。この度、ソレイユにてめでたくデビューを果たす。



新人歓迎

令和2年4月～令和2年9月に加わった新しい職員を紹介します。フレッシュパワーで頑張りますので名前と顔を覚えていただけましたら幸いです。

生活支援員・音楽療法士

渡辺はるな

２年前から放課後等デイサービスでアルバイトをしており、４月から入所部で生活支援員・音楽療法士としてお仕事させていただくことになりました。精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

生活支援員・音楽療法士

森家麻以

以前からアルバイトとしてお世話になっておりましたが、この度正職員として入職しましたモリイエマイと申します。生活支援員・音楽療法士として精一杯頑張って参りますので宜しくお願いします。

募集告知

現在「まどか園」では、通所(生活介護)および短期入所(ショートステイ)、放課後等デイサービスの利用を希望されている方を募集しています。詳しい情報はTEL092-504-6537までお問合せください。

編集後記

「この子らを世の光に」とは“社会福祉の父”と呼ばれた糸賀一雄氏が残した有名な言葉です。普通に考えると「この子らに世の光を」と言ってしまいがちですが、糸賀氏は、そうではなくこの子らの美しさこそ世の光というべき存在であると教えているのです。それは上の漫画にも出てくるO﨑さんにも強く感じることです。O﨑さんは我が園の光、天使のような存在なのです。〈編集部：浅草〉